

遠州灘海浜公園基本構想（概要）

①背景と目的

遠州灘海浜公園は、浜松市沿岸部に位置し、中田島砂丘や松林など浜松市を代表する景観を有する都市計画決定面積 670.5ha（うち開設面積 63.6ha）の広大な総合公園です。本公園は、「浜松市緑の基本計画」などの上位計画においてスポーツやレクリエーション活動の拠点として整備・充実を図る公園として位置づけられています。

昭和 36 年の中田島地区の開設以後、昭和 63 年に中田島北地区、平成 21 年に浜松市総合水泳場が供用されているものの、その後の具体的な整備計画はなく現在に至っております。

平成 23 年 3 月には東日本大震災が発生し、南海トラフ巨大地震に対する危機感が高まる中、遠州灘海浜公園内で防潮堤の整備が進み、当公園をとりまく状況が大きく変化したことから、本公園の基本方針と導入が望ましい施設等について改めて検討し、今後の公園機能の充実を図るため、公園基本構想を策定することとしました。

構想策定にあたっては、浜松市と協議を重ね、静岡県都市公園懇話会での有識者の意見やパブリックコメントに寄せられた県民意見を反映させて、構想としてとりまとめました。

②遠州灘海浜公園の基本方針における各拠点の位置づけ



③遠州灘海浜公園(篠原地区) 基本構想

基本方針「防災・スポーツの拠点」の創出

(1) 基本的な考え方

- 海辺の緑に包まれた中で、沿岸地区の特性を生かしたスポーツ、レクリエーション、学習等の活動拠点となる公園とする。
- 平時、発災時、被災時にも利用できる防災機能を備え、安全安心を提供できる公園とする。

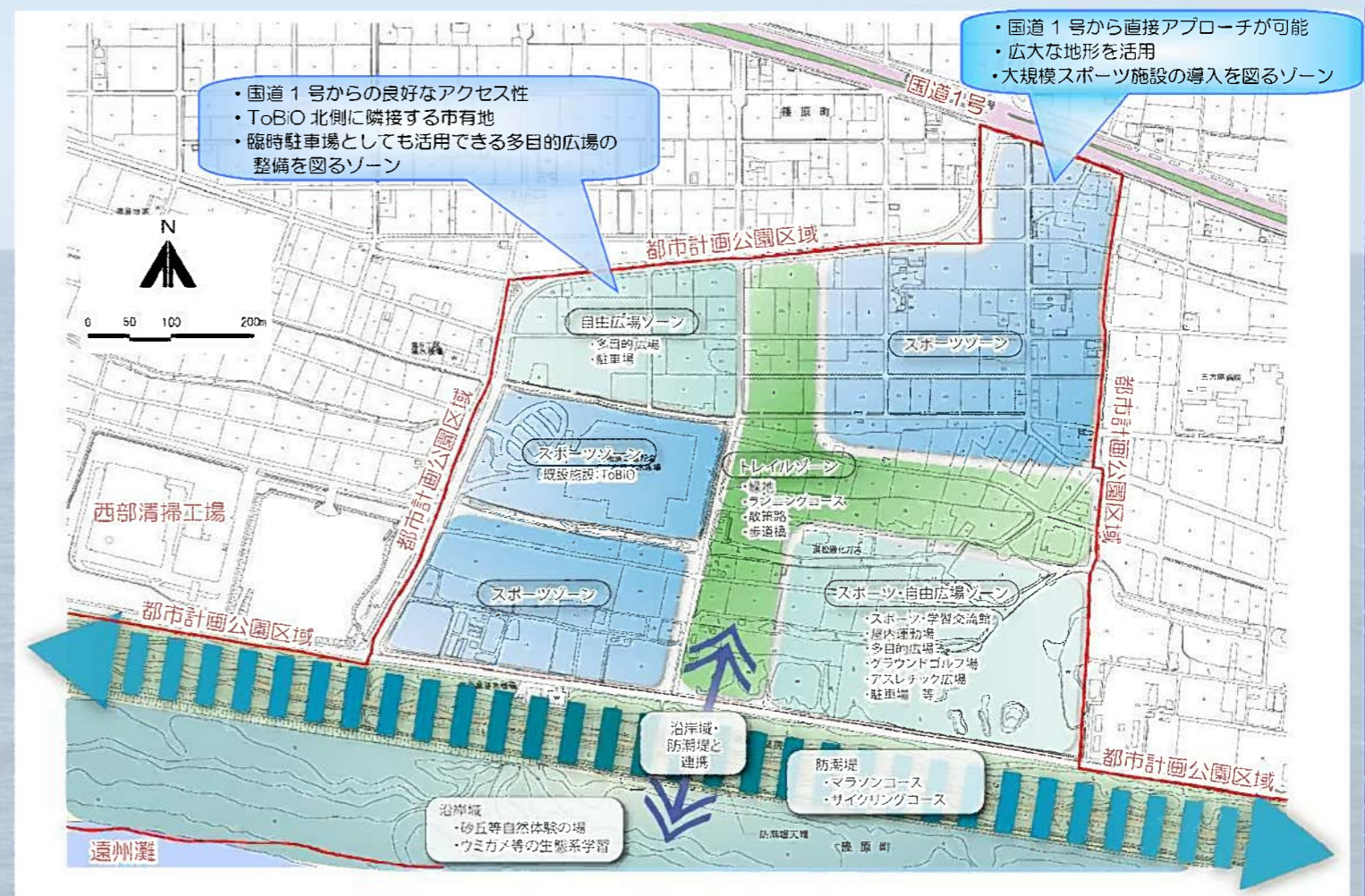
(2) スポーツの拠点の創出

基本方針	導入が望ましい公園施設
・スポーツ施設のバランスある配置による新たなスポーツ拠点づくり	野球場、屋内運動場、浜松市総合水泳場(既設)
・ニュースポーツの場の提供・スポーツ需要を開拓	グラウンドゴルフ、アスレチック、イベント等
・緑の中のレクリエーションの場の提供	バーベキュー、デイキャンプ、ピクニック、ツリークライミング等
・遠州灘ロングトレイルの利用拠点	防潮堤に接続するマラソンコース、サイクリングコースの発着所等
・防災林の利用拠点	オープンカフェ、あずまや、レストハウス等
・海辺を活用した海洋スポーツ・レクリエーション活動拠点	釣りやビーチバレー等を楽しむ人への駐車場、駐輪場、トイレの提供
・海洋生物等の環境学習の場	アカウミガメ等の生態環境の学習基地、砂丘等の学習施設等
・その他	駐車場

(3) 防災の拠点の創出

- 導入が望ましい防災機能
- 平時：啓発コーナー、備蓄倉庫
 - 発災直後：津波から命を守る機能、緊急時のドクターヘリ離着陸場
 - 応急活動開始後：浜松市の物資集積所、警察・自衛隊・災害ボランティア等の支援活動候補地、災害ガレキの一時受入、放置車両の受入

④遠州灘海浜公園(篠原地区) 構想図



全文：静岡県都市局公園緑地課ホームページ (<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-560/index.html>)
 お問合せ先：静岡県交通基盤部都市局公園緑地課 TEL(054)221-3626 FAX(054)221-3493